4　「需要の算定方法等の詳細」の１．の欄の記載に当たつては、パケット交換機等の接続構成図を含め、自社設備及びＭＶＮＯ（電気通信事業報告規則様式第３第２表に規定するＭＶＮＯをいう。以下同じ。）の設備がそれぞれどのように接続されるかが明確に分かるように記載すること。	4　「実績値の算定方法」の欄には、需要の算定方法の概要を記載すること。
5　「需要の算定方法等の詳細」の２．の欄の記載に当たつては、１．で示した接続構成における測定箇所を示し、測定箇所及び接続点それぞれの通信方式を示すとともに、測定方法については、測定のタイミングや回数等も含めて記載すること。この場合において、当該測定箇所とＭＶＮＯの設備との接続点が異なる場合は、当該測定箇所を採用した理由を記載すること。	5　「予測値の算定方法」の欄には、予測値の算定において用いた過去の実績値及び予測対象年度における見込み（データ伝送容量の拡充予定等予測対象年度における接続料に大きな影響を与え得る基礎的なものについては、具体的な値を含む。）並びに当該予測値の具体的な計算式を記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。
6　「需要の算定方法等の詳細」の４．の欄の記載に当たつては、測定されたものを基にどのように需要が算定されたのか、詳細に記載すること。この場合において、ＭＶＮＯの契約帯域の取扱いも併せて記載すること。	［新設］
7　「需要の算定方法等の詳細」の５．の欄の記載に当たつては、控除を行うべき理由が複数ある場合は、それぞれに対応する控除した値も含めて記載すること。	［新設］
8　「需要の算定方法等の詳細」の６．の欄には、基礎事業年度における最繁時トラヒックを記載すること。ただし、２．の欄で記載した測定箇所と最繁時トラヒックの測定箇所が異なる場合は、当該測定箇所を示すこと。	［新設］
9　「需要の算定方法等の詳細」の７．の欄には、ＭＮＯ（電気通信事業報告規則様式第３第２表に規定するＭＮＯをいう。）がＭＶＮＯの冗長を確保するために、必要な接続構成やその際の接続料の有無等を記載すること。	［新設］
10　「需要の算定方法等の詳細」の８．の欄には、予測値の具体的な計算式及び予測値の算定において予測対象年度における見込み及び過去の実績値をどのように用いたのかについて具体的に記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。	［新設］
11　「需要の算定方法等の詳細」の９．の欄には、算定に用いた見込みや過去の実績値のうち、データ伝送容量の拡充予定等予測対象年度における接続料に影響を与え得る基礎的なものについて、その具体的な値を記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。	［新設］

１の２　データ伝送交換機能の回線数単位接続料に係る需要

項目	数値（単位：回線）			予測値の具体的な計算式等	基礎的なものの具体的な値
	実績値（事業年度）	参考値（事業年度）	予測値（事業年度）		
需要					

［注１～３　略］

１の２　［同左］

項目	数値（単位：回線）			予測値の算定方法
	実績値（事業年度）	参考値（事業年度）	予測値（事業年度）	
需要				

［注１～３　同左］